

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】 第 7 部門第 2 区分  
【発行日】 令和 5 年 9 月 22 日 (2023.9.22)

【国際公開番号】 WO2023/032671  
【出願番号】 特願 2023-545427 (P2023-545427)  
【国際特許分類】

H 0 5 K 1/16 (2006.01)  
H 0 5 K 1/11 (2006.01)  
H 0 1 F 17/00 (2006.01)  
H 0 1 F 27/28 (2006.01)

10

【F I】

H 0 5 K 1/16 B  
H 0 5 K 1/11 A  
H 0 1 F 17/00 B  
H 0 1 F 27/28 1 0 4

【手続補正書】  
【提出日】 令和 5 年 6 月 20 日 (2023.6.20)  
【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】 特許請求の範囲  
【補正対象項目名】 全文  
【補正方法】 変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

主面を有するベースフィルムと、  
前記主面上に形成されているコイル配線と、  
前記コイル配線の一方端及び他方端に接続されている第 1 接続ランド及び第 2 接続ランドとを備え、  
前記主面は、第 1 主面と、前記第 1 主面の反対面である第 2 主面とを有し、  
前記コイル配線は、前記第 1 主面上に渦巻状に形成されている第 1 コイル配線と、前記第 2 主面上に渦巻状に形成されており、かつ前記第 1 コイル配線に電氣的に接続されている第 2 コイル配線とを有し、  
前記第 1 接続ランド及び前記第 2 接続ランドは、前記第 2 主面上に形成されており、  
前記第 1 コイル配線の巻き数は、前記第 2 コイル配線の巻き数よりも多い、プリント配線板。

30

【請求項 2】

前記第 1 コイル配線の巻き数は、前記第 2 コイル配線の巻き数の 1.1 倍以上 4.3 倍以下である、請求項 1 に記載のプリント配線板。

40

【請求項 3】

前記第 1 コイル配線は、前記第 2 コイル配線よりも長い、請求項 1 に記載のプリント配線板。

【請求項 4】

前記第 1 コイル配線の面積率は、前記第 2 コイル配線の面積率よりも大きい、請求項 1 に記載のプリント配線板。

【請求項 5】

前記第 1 コイル配線の長さは、前記第 2 コイル配線の長さの 1.1 倍以上 3.0 倍以下である、請求項 3 に記載のプリント配線板。

【請求項 6】

50

前記第 1 コイル配線の面積率は、前記第 2 コイル配線の面積率の 1 . 1 倍以上 2 . 5 倍以下である、請求項 4 に記載のプリント配線板。

【請求項 7】

前記第 1 主面が磁石と対向するように配置される、請求項 1 に記載のプリント配線板。

【請求項 8】

隣り合う前記コイル配線の 2 つの部分の間隔は、20 μm 以下である、請求項 1 から請求項 7 のいずれか 1 項に記載のプリント配線板。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

ベースフィルム 10 は、第 1 主面 10 a と、第 2 主面 10 b とを有している。第 1 主面 10 a 及び第 2 主面 10 b は、厚さ方向におけるベースフィルム 10 の端面を構成している。第 2 主面 10 b は、第 1 主面 10 a の反対面である。ベースフィルム 10 は、可撓性を有する絶縁性の材料により形成されている。ベースフィルム 10 を構成している材料の具体例としては、ポリイミド、ポリエチレンテレフタレート及びフッ素樹脂が挙げられる。

20

30

40

50